

<b>令和元年度第1回大野城市上下水道事業運営審議会 会議録</b>	
日 時	令和元年 11 月 1 日（金） 13：26～14：50
開催場所	市庁舎本館 4 階 全員協議会室
出席者	審議会委員：広城会長、鳥居副会長、小原委員、高原委員、田口委員、西本委員 以上 6 名 上下水道局：賀村上下水道局長、松岡企業総務課長、中野上下水道工務課長、 松竹料金施設課長、多々良浄水課長、他 7 名（係長、担当）以上 12 名
欠席者	審議会委員：斧田委員 以上 1 名
傍聴者	なし
議 題	① 平成 30 年度大野城市上下水道事業会計決算について （資料①、資料②、資料④、資料⑤） ② 平成 31 年度（令和元年度）大野城市上下水道事業会計予算について （資料③、資料⑥） ③ 第 3 次中期経営計画主要事業管理一覧表（R 1～R 5）について（資料⑦）
資 料	①（資料①）平成 30 年度大野城市水道事業会計決算の概要 ②（資料②）平成 30 年度大野城市水道事業決算書 ③（資料③）平成 31 年度（令和元年度）大野城市水道事業会計予算書 ④（資料④）平成 30 年度大野城市下水道事業会計決算の概要 ⑤（資料⑤）平成 30 年度大野城市下水道事業決算書 ⑥（資料⑥）平成 31 年度（令和元年度）大野城市下水道事業会計予算書 ⑦（資料⑦）第 3 次中期経営計画主要事業管理一覧表（R 1～R 5）
議 事	<p>◇開会</p> <p>◇会長あいさつ</p> <p>◇事務局自己紹介</p> <p>【議題】</p> <p>① 平成 30 年度大野城市上下水道事業会計決算について （資料①、資料②、資料④、資料⑤）</p> <p>② 平成 31 年度（令和元年度）大野城市上下水道事業会計予算について （資料③、資料⑥）</p> <p>議題①、議題②についてまとめて、水道事業、下水道事業の順に説明。</p> <p>○水道事業（資料①、資料②、資料③）について説明</p> <p>◆質疑</p> <p>（委員）有収率についてですが、平成 29 年度から平成 30 年度で上がっています。 総配水量が減って有収水量も増えて効率が良い状況です。 何か理由があれば聞かせていただきたいです。</p> <p>（市）年間有収水量については、人口の伸びによるものですが、年間総配水量が約 9 万 m<sup>3</sup>程度減っているところです。こちらについては、平成 28 年</p>

度の状況とも比較したところ、平成 29 年度分の配水量が突出して多い状況でした。そのため、平成 28 年度以前の推移も確認しましたが、平成 30 年度決算につきましては、その推移とほぼ同様の状況でした。

(委員) 平成 29 年度だけ数字だけが突出していたのですか。

(市) 原因を調べたのですが、明確な理由はわかりませんでした。そのため、配水管などの施設整備事業を計画的に進めているので、そのことにより漏水量が減少しているのではないかと考えているところです。

(委員) 大山ダムの減免措置が終了したことにより、受水費はどの程度上がったのですか。

(市) 大山ダムの減免措置が終了したことにより、受水費は 2,800 万円程度増加しています。

(委員) その分で受水費が増加しているのですね。ほぼ、毎年の経費は変わらないのですか。

(市) 協定による受水量になっていますので、大きく変わることはありませんが、今後、五ヶ山ダム分が供用開始になれば、受水量が 1 日あたり 1,000 m<sup>3</sup>上がりますので、その分受水費は上がることになります。

(委員) 五ヶ山ダムが供用開始になれば、その分出費が増えるということですね。

(市) 受水費は増えますが、市がつくる水量は下がりますので、単純に受水費が上がったから全体的な経費が上がるという話ではありません。

(委員) 受水費が上がって、浄水費が下がるということですね。

(市) そのとおりです。

## ○下水道事業（資料④、資料⑤、資料⑥）について説明

### ◆質疑

(委員) 流域下水道維持管理負担金について、引き下げられたということで、大変良いと思うのですが、定期的に話し合いをしているのでしょうか。

(市) 御笠川那珂川流域になりますので、福岡県と関係市が一緒になって協議を進めているところです。来年度以降の単価については、現在の単価を据え置きにするのか、少し値上げするのか、今後協議をして詰めていくこととしています。

(委員) 分かりました。なるべく据え置きで進めていただきたいです。

(市) 補足して説明いたしますと、毎年、維持管理費がどの程度になるか、関係市と協議を行いまして単価に関する覚書を結んでいるところですが、見込みであるため余剰金が発生します。その取扱いについても福岡県と以前から協議を重ねてきまして、平成 25 年度から 29 年度までの余剰金については、今年度、約 1 億 3 千万円の返還を受けたところです。

(委員) いいですね。

(市) 今後とも福岡県と関係市と協議を進めていきたいと考えています。

(委員) 下水道の方も上水道と同じく、うまくいっているような感じがしますし、

企業債も残高が減ってきていて市の努力が感じられると思います。

**【議題】**

**③ 第3次中期経営計画主要事業管理一覧表（R1～R5）について（資料⑦）**

各主要施策 22 項目について、平成 30 年度実績、令和元年度事業計画を主要施策の順番に担当係長が説明

**◆質疑**

（委員）10 番の雨水整備事業についてですが、整備基準、時間雨量をどのくらいで設計していますか。

（市）大野城市では平成 29 年度に雨水管理総合計画を立てまして、その際に平成 21 年に高速道路横の法面が崩れた雨ですが、この時の雨量を想定して浸水シミュレーションをかけております。この時の雨が仮にもう一度降ったとしても市内で災害が発生しないことを目標に整備を進める方針としています。今回、9 箇所の整備を上げておりますが、この中でやろうとしている整備は、まず短期的にすぐ効果がでる整備ということで、床上浸水の軽減と床下浸水の軽減を目標にしております。主な内容としましては、内水氾濫の主な原因は御笠川の逆流が占めるということが分かりまして、御笠川から水が流れ込んでくるのを防ぐため、フラップゲートの設置を 4 箇所この期間中に行う予定としております。

それに加えまして、現状では水は溢れていませんが、浸水シミュレーションでは水が溢れるという結果が出た場所については断面を大きくする、もしくはバイパス管を整備するという方針でこの計画中に実施しようと考えております。今、委員の方でご質問のあった対象とした雨については平成 21 年度の雨でピークのとき時間雨量 95 ミリと同等を想定しております。

（委員）1 番ですけれども、水質事故件数 0 ですごく良いのですが、市で水質事故が考えられるとすれば、どういうことが考えられるでしょうか。

（市）一番は、やはり浄水過程における薬品注入の不手際とか、そういった場合が顕著に水質事故につながると思っております。今までは、水質事故と言われるのは主に水質検査を細かくすることで防いでいたのですが、今年度の目標に掲げております「水安全計画」は、水源から給水まで各家庭に配るまでのあらゆる事故のリスクを想定しておりますので、それを今年度策定して、より一層の安定供給を目指しているところです。

（委員）15 番の再生エネルギー導入検討ですが、小水力発電の視察の結果はいかがだったでしょうか。私は、費用対効果が悪いかないと考えております。率直なご意見をお伺いしたいのですが。

（市）北九州市に 5 月に視察に行きました。そこは配水池と配水池の高低差を利用した水力発電ですが、市の施設では牛頸ダムと牛頸浄水場の高低差を利用した水力発電が考えられます。今おっしゃられたように費用対効果で見ると

ものすごく効率が悪いということが判明しました。

(委員) 福岡市でもそのような報告を伺っております。

(委員) 12番の汚水管の調査あるいは13番の雨水幹線の調査はどのようにして調査をやっているのですか。

(市) まず、12番の汚水管の調査ですが、汚水管の中に自走式のカメラを入れて映像を撮って、その映像を後から確認して、管の損傷を確認する作業をしています。比較的新しい技術がどんどん開発されていて、カメラの映像も結構鮮明に見ることができるので、管の損傷があれば次の計画の時にその管を更正することや調査の結果すぐに直さなければいけないものについては報告を受けてすぐに直しています。13番の雨水幹線の調査ですが、こちらについては職員で目視点検を実施しております。2年間で全部見て回る予定で、今実施しているところです。

(委員) 目視ですか。

(市) 雨水幹線はですね。

(委員) 予定の時間となりましたので、以後の進行を事務局にお返しします。

(市) 全体を通して何かご質問はありませんか。

(委員) 議題には無いですが、近頃、台風や水害で断水が長期間に及んでいます。

その原因は、電力の関係だろうと思いますが、その他の原因もあるのではないかと思います。大野城でも台風や水害は十分ありえますので、しっかり調査をした方がよいと思います。どこに原因があって断水となったのか。少し落ち着いたら現地に行ってもいいのではないかと、今はまだわからないと思いますが、何かデータ等情報があれば教えていただきたいです。

(市) 先日の台風で断水に至った地域ですが、福島県の浄水場が水没して2週間ほど断水しました。その他、土砂災害で浄水場に土砂が入り、土砂を撤去するまでの何日間か断水しているところがあります。あとは、千葉県で台風による長期停電により断水しているところがあります。詳細は分かりませんが、瓦田浄水場も浸水想定区域ですし、牛頸も土砂災害区域に入っていますので、今後対策を検討していきたいと思っております。

(委員) 思いもよらない雨が降ったり、風が吹いたりするので、日本全国どこで発生するのかわからないので、詳細な調査をして、対策を取れば取ったほうがよいと思います。是非調査・研究をしていただくことを希望します。

◇閉会の挨拶(賀村上下水道局長より)

以上